

ブーゲンハーゲン
*Bugenhagen というタイトルは？ ルターの協力者で、宗教改革を推進した人物から名付けました。

2014年度が始まり、2ヶ月が過ぎようとしています。1年生の皆さん、ルーテルの雰囲気にはもう慣れましたか？2年生以上の皆さんは「今年はこんな感じかな」と、ペースが掴めてきたところではないでしょうか。少し見通しが立ってきたところで、勉強以外にも自分の幅を広げる読書という視点で、読みたい本を選ぶ目標探しを図書館からオススメします。

図書館サポーター（とサポ）による **2014年度目標本** もくひょうぼん

『神の痛みの神学』

北森嘉蔵著 ※

請求記号：191||K167-2

社会福祉学科2年 高山翔伍くん



ルーテルで勉強し始めて、専攻の社会福祉に加えキリスト教の分野にも興味を持つようになりました。以前読もうと思っていたはずなのに忘れていたこの本が上村先生の「日本宗教の源流」の授業中に紹介され、思い出すことができたので、今年こそ読みたいです。

※北森嘉蔵は本学出身の神学者。この著作は世界的に有名です。

『たま虫を見る』
井伏鱒二著

臨床心理学科3年 長島亮太くん



センター試験の問題で一部分だけ読んだ作品ですが、きれいな玉むしがマイナスのイメージとして書かれている点に興味を持ちました。主人公がレインコートに付いた玉むしを叩き落とすシーンが強烈で…。気になる続きを読みたいです！

もう一つ「おばあさんが散歩をしているとパン屋を見つけ、そこで桜の花がのったアンパンを買う」といった内容の作品も、同じようにセンター試験の問題で見つけ、続きが気になっているのですが、作品の題名がわからず読みたいのに見つけれない状態…。誰か、知っていたら教えてください！

『The Earthsea quartet』
Ursula Le Guin 著
請求記号：813.54||L52

(ゲド戦記 アーシュラ・K・ル＝グウィン著)

社会福祉学科4年 徳水啓一郎くん



日本語版を読んだことがあり、主人公ゲドの人生を通して描かれるストーリーと世界観にはまりました。ファンタジーの世界が英語ではどのように書かれているのか、表現に興味を持って原著を読むことに挑戦したいです。

桜の花がのったアンパンの



登場する話を探しています！

●「とサポ」とは…♪ 図書館の広報活動を職員と協同で行う学生ボランティアの名称です。2014年度より活動を開始しました。新入生向け図書館オリエンテーションの手伝いや、図書館報へのアイデア提供など、少しずつ仕事の幅を広げていきたいと考えています。発足メンバーは今回登場の3名です。次期メンバー募集は今年度後期を予定しています。

☆読みたい本が図書館の蔵書にない時、気軽にご相談ください。購入リクエストはカウンター又は図書館HPのメールアドレスから☆

裏へ続く

メリアン聖書修復完了 学内者限定公開

昨年秋に図書館書庫で発見された貴重書「メリアン聖書」の修復が今年春に完了しました。素晴らしい資料の存在をまずは学内の皆さんへお知らせしたく、学内者限定公開が5月21日に行われました。「メリアン聖書」について知りたい方はBughenhagenバックナンバーを図書館HPからご覧ください。



本学名誉教授 徳善義和先生講演 「メリアン聖書のことども」



★アンケートの回答より★

聖書が生きていますと感じました。(キリスト教学科学生)

(先生のお話は)ユーモアもあって素晴らしかったです。芸術的で、さまざまな偶然が重なって、ルーテルにメリアンがあって本当によかったですね。(公開講座生)

実物ってすごい。(専任教員)



貴重書は別置されており、通常見ることはできません。
次回の「メリアン聖書」公開は9月23日(一日神学校)。
学外の方もご覧頂ける一般公開の予定です。

久しぶりに登場！ 「図書館のひとコマ」



「ハ虫類が苦手な方ゴメンナサイ！ボク図書館ヤモリです。」図書館の窓にピタッとくっついているところを写真に収めました。時々、書庫内の隅っこで見かけることも。害虫を食べて駆除してくれる頼もしい仲間です。

Photo by まっつん

【お待たせしました！アクティブラーニングスペースにPC設置】

4月から運用を開始した会話しながらの学習OKなアクティブラーニングスペース。インターネット検索と共に、オフィスソフトが使えるパソコンが設置されました。館内利用のプロジェクターも貸出できますので、パワーポイントで作成した資料を映して、プレゼンテーションの練習なども可能です。

限られた空間ですが、マナーを守って皆が便利に使えるような心がけをどうぞよろしくお願いします♪

図書館からのお知らせ

編集後記

今年度も図書館報の発行を担当します大栗(おおぐり)です。私の今年の目標本は、ハンナ・アーレント著作。ユダヤ人のアーレントがホロコーストで行われた事に対して「ナチスだけに罪があるのではない」と、一般論とは異なる見解を世界へ投げかけたことを知って、他にはどんな独自の考えを持った人なのだろうかと興味を持ちました。しかしアーレント自身の著作は難しい…。『過去と未来の間』(請求記号:311.04/A68)をちょっと開いてみて早々に挫折しそうです(;-;)が、頑張ります！

Bughenhagen No. 22

編集・発行 ルーテル学院大学図書館

TEL/FAX 0422-31-4814

2014年5月30日発行

〒181-0015 三鷹市大沢 3-10-20

図書館ホームページ:「ルーテル学院大学図書館」で検索